

総会記念シンポジウム

愛知の保育って何だろう？ 合研50周年に考える

2018年は、4月より改定保育所保育指針等が施行されますが、8月に全国保育団体合同研究集会（通称、合研）の50回記念大会が開催される年でもあります。2018年は、私たちが先人から引き継ぎ大切に積み上げてきた「保育」を見つめ直す年になるでしょう。

そこで2018年愛保協総会では、午前に記念シンポジウムを開催することになりました。題して「愛知の保育って何だろう？ 合研50周年に考える」。愛知の保育の出発点である「レンガの子ども」として知られるヤジエセツルメント保育所の実践、その後の誰もが手探りで乳児保育の実践をすすめていた共同保育所の作り時代、そして1969年に長野県山之内町で開催された第1回合研の開催までを、当時を知る方々に語っていただく貴重な企画です。

きっとみなさんが、これからの愛知の保育を考え創っていくための道しるべとなるでしょう。

日 時／2018年3月11日（日）10:00～12:00（開場9:45より）
場 所／労働会館東館2階ホール（名古屋市熱田区沢下町9-7）
※金山駅東口よりイオンモール熱田方面。7イレブンを左折すぐ徒歩10分程度
内 容／シンポジウム 愛知の保育って何だろう？ 合研50周年に考える
発 言／穴戸健夫さん、河本ふじ江さん、平松知子さん
参加費／無料。愛保協会員以外の方でも、どなたでも参加いただけます



【講師紹介】

穴戸健夫さん。1930年神奈川県生まれ。1959年より愛知県立大学前身の県立女子（短期）大学に赴任、1996年定年退官。ヤジエセツルメント保育所の誕生にも深くかかわる。愛知の保育の歴史を語れる一人である。

河本ふじ江さん。1934年東京都生まれ。東京都品川区緑の家保育園勤務。1960年4月より名古屋に転居、ヤジエセツルメント保育所に。その後、みよし・ほしざき保育園の両園長をつとめる。あの『レンガの子ども』の伝説の保育者である。

平松知子さん。1961年静岡県生まれ。2007年4月、名古屋市で最初に民営化された公立保育所の受託園園長となる。その経験から「保育が福祉であり続けるために」活動を続ける、信念と行動の人である。

主 催：愛知保育団体連絡協議会

連絡先：名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館308 保育センター内

TEL 052-872-1971 FAX 052-872-1974

（注）総会は、同会場にて13:00～17:00の時間帯で行われます。